

ゆ もとかいざんはい
湯本開山牌

- ◇ 指定日 平成10年7月24日
- ◇ 所在地 和井内
- ◇ 所有者 個人

湯本開山牌は、鞭牛が発見した^{きんけいざんこうせん}金鶏山鉦泉の初代湯守をつとめたと伝えられている和井内地区伊佐内の旧家に保存されています。

鞭牛が生前に自作自筆自刻したものと伝承されていますが、作者は和井内^{ほうきょういん}宝鏡院の奉仕^{かんおう}鑑住であった七世牧翁^{めいわ}圓牛や明和年間の宝鏡院住職であった太田和尚の可能性も考えられます。

なお、金鶏山鉦泉は、昭和の末年まで、岩手県沿岸地方はもとより、遠く青森県の方からも常連客があって繁盛していました。現在は約2km下流にある宮古市老人憩いの家^{あでいさんそう}安庭山荘の源泉に利用されています。



(裏) 宝暦十年二月廿八日見出
年五十一歳

(表) 湯本開山林宗六世牧菴鞭牛大和尚